

みらいふ。 ビジネスレポート

11月号

November
2018年



日本が世界に類を見ない少子高齢化、大人人口減少時代に入ったことは誰もが知っている通りです。すでに世の中には人口減少の日本の未来を探った本が何冊も出てきていますが、不安が加速する高齢化社会、人口減少社会に対して、ロボットや AI、あるいは医療技術がいかにこれらの不安をすくい上げ、解決していけるのかというような構図になっているかと思えます。

しかし実際に人口減少社会、高齢社会になった時に起こってくることを、どこまでイメージできているのでしょうか。たとえば高齢者が増えるとこれまでより通勤に時間がかかる可能性があります。仮に朝夕走る路線バスを想定すると、高齢者が増えると、車椅子や杖をついた人が増えるため、同じ人数でも1つの停留所に止まっている時間が長くなります。追い越し禁止路線であれば、当然後ろで待つマイカー通勤者も待たざるを得ません。これが常態化すれば、多くの企業で就業時間を見直す必要が出てきます。会議に間に合わなかったり、工場では従業員が揃わないために、稼働が遅れて、生産が計画通りにいかなくなる可能性もあります。

電車や地下鉄も同様です。これまで以上に高齢者のためにバリアフリー化を促進しなければいけないでしょう。ホームにエレベーター1つだけでは車椅子の乗客をスムーズに運ぶことはできないでしょう。電

株式会社みらいふ
ファイナンシャルプランナー 梅田 道明
〒615-0885
京都市右京区西京極午塚町30
Tel : 075-863-0808 Fax : 075-863-0809
E-mail : news@k-milife.co.jp
URL : http://www.k-milife.co.jp

誰もが無視できない

人口大減少時代の日本の未来を考える

車内の構造も抜本的に変えていく必要があるでしょう。

ほかにも東京オリンピックで湧く都心に林立するタワーマンションは、住民の所得階層の分断からスラム化する可能性があります。

中小企業は経営者の高齢化と後継者不足から会社を廃業せざるを得ず、失業者が続出する可能性があります。中小企業の廃業は、めぐりめぐって大企業の収益にインパクトを与えることとなります。

年金や保険料の問題だけでなく、経済活動そのものにインパクトを与えてくるのです。今回の号ではオフィスや交通機関、地方や大都市の中でどんなことが日常的に起こってくるのか、それを概観し、そうした課題に対してどのような対応が可能なのか、見ていきたいと思います。

プラスα 豆知識

- ① 高齢化で通勤時間が延びる
 - ② 九州全土以上の「所有者不明」の土地
 - ③ 人が住まなくなった土地は害獣のパラダイス
- 今回の記事でお伝えしきれなかった豆知識。ぜひ小冊子(A4判10枚)にてご確認ください。

いますぐ
ご返信下さい

さらに詳しい内容を無料情報誌(A4版7P)としてメールにてお届けします

下記申込みフォームにてご記入しFAXにてご送信いただくか、下記アドレスよりビジネスレポート申込みと記入の上ご送信ください。

e-mail : news@k-milife.co.jp

FAX : 075 - 863 - 0809

会社名 :	部署 :	お名前 :
住所 :		Tel :
E-mail :		Fax :

*ご登録いただいた個人情報は、弊社サービスの提供・案内及び今後役に立つため使用しその目的以外に使用することはありません。